

ロータリー財団への寄付

財団奨学生と研究グループ交換（GSE）

財団学友について

の3つのテーマについてその概要、討論が行われた。既に平成4年6月、R財団セミナーにおける詳細については各クラブ事務局に郵送済なのでそれを十分熟知されR財団に励んでほしい。栗山ガバナー年度のR財団目標額は45万\$達成（地区ロータリアン1人平均90\$弱=1200円）を期待しております。ちなみに当クラブ今井、山上年度では会員1人平均20\$でありました。そのための上手な基金、財団寄付推進活動を行うためには会員の皆様にR財団事業を十分理解して頂くべきである。例えばプログラム委員長にお願いしてR財団地区幹部、R財団奨学生などによる卓話、R財団事業に関するビデオなどによるPRを行い会員のR財団事業参加の意識を高める為の努力をお願いしたい。R財団事業には色々のプログラムが紹介されている。従来、R財団奨学生に運用が集中している。その他職業人の参加出来る研究グループ交換（GSE）など色々のプログラムへの参加を促しているので各クラブとも目標をもってやってほしい。このことはシェア・システム（SHARE SYSTEM）の採用で地区財団活動資金として60%の運用が認められているので何時も資金応援だけに終始せず積極的に各クラブともR財団プログラムへの参加を促しております。また従来R財団奨学民は100名以上に達しているがその方々の追跡評価など行われていなかった。今回その同窓会名簿を作成作業をすすめ第1回R財団奨学生、研究グループ交換（GSE）の皆様の同総会を行い、それらの皆様方の顔が見えるようにしたいと云うことでありました。

米山奨学委員会 淵岡 茂さん

1992～93年度東部IM

地区米山奨学委員会の寄付に関する本年度方針

- 1、普通寄付（3000円）以上のクラブ、及び個人の特別寄付が全く無いクラブがあり、本年はこのような事がないように
- 2、今回新設されたファンドフェロー（15万円の寄付で14万円の所得控除）を個人特別寄付の主力とする様、その有利性を強調してクラブ会員数の10%を目標にしてください。
- 3、クラブの特別寄付に関して、ガバナー公式訪問米山月間、クラブ創立記念、夜例会、新入会員の時を記念して数千円の寄付をお願いする。
- 4、米山奨学生を例会に招待し卓話を依頼し、米山奨学円を身近なものとする努力

以上が今年度方針として報告がありましたが、今年度栗山ガバナーの方針として、米山奨学を非常に重要視しております。三条北の米山委員として理事会に依頼事項として①米山普通寄付の増額②クラブ寄付の依頼③会員のファンドローへの対応と会員企業よりの米山奨学への寄付のお願い。

新会員部会 長谷川恵慈さん

初めてIMに参加させてもらいましたが、あまの人数の多さにびっくりしました。600人近くの

おもいをしました。渡辺さんお元気でなによりです

梨本清一君 過日の水資源勉強会で三条に住んでいながら知らないことがいっぱいあるんだなあと認識を新たにしました。吉川委員長はじめ関係者に感謝申し上げます

吉川吉彦君 命の水視察例会に多数出席いただき、初期の目的を達成いただき、大成功大変ありがとうございました。

柄沢憲司君 ゴルフ大会のペリアで優勝し、韓国ペアー旅行をして来ました。ゴルフはペリアに限ります！

齊藤正君 久しぶりの様な気がしますので

佐藤文夫君 27・28日と四万温泉に行ってきた。吉田クラブの方も御一緒に大変楽しい旅でした。

馬場直次郎君 秋来ぬと目にはさやかに見えぬも風の音にぞおどろかれぬ  
いよいよ本格的な行楽の秋です、又旅に出るのが楽しみです

石川友意君 先週吉川委員長はじめ皆さん御苦勞様でした。たいへん良い勉強をさせていただきました  
本間建雄美君

笹原勝治君 IMへの急な欠席ご迷惑をおかけしました。

今井克義君 矢無を得ない事情で途中退席します。

ロータリー財団：

吉川吉彦君 「お客様は神様です」。三波春夫さんが来村され30日にファイヤーサイドいたします。翌10月1日はプライベートでゴルフです。

佐藤文夫君 協力して！

笹原勝治君 山本先生の目での期待にこたえ。

山本賢君

卓 話： IM参加報告

第1分科会 高橋会長

東部IMに参加して 会長、幹事部会

テーマ

1、クラブの管理運営とリーダーシップ

2、幹事の実務と年次計画

3、クラブの活性化

木暮達明リーダー、高橋善夫、長谷川章サプリーダーのもとで、IMの歴史等の説明があり、各クラブ代表による事例発表等で熱心に行われた。各クラブ共如何に親睦を計り活性化を進めるかに苦心し、工夫され、皆悩みは同じ様である。出席率を上げ、より親睦を深める為にと、夜例会の設営、親睦旅行、ゴルフコンペの開催と様々であるが、ユニークのところでは誕生日には誕生日の新

聞を贈ったり、結婚祝に各家庭を訪問し、そのインタビューを例会で発表というクラブもあり、腐心されている様である。とにかく活性化を計るには新会員の増強と、入会歴の浅い人を委員長にし、ベテランが副として配し、補佐してゆくことも大切である。又、第2560地区の分割の問題もあるとのこと。なかなか難しい様である。（1地区40クラブが条件であり、群馬は36クラブ）結論的にはよりロータリーを知ることが活性化を計ることであり、より学び、より多くの友人を得ることであり、人が人から学ぶ場であるということである。

**クラブ奉仕委員会** 羽賀一夫さん

クラブ奉仕部会のテーマは ①例会及び諸会合への出席 ②クラブの活性化とプログラム ③10%純増を目指しての3つでした。各クラブから発表された面白そうな内容を書いてみます。①については、東京のクラブへメーキャップした人が、森繁久弥のとなりに座り苦労話を聞くことが出来大変ハッピーな体験をしたので、また機会があったなら色々なクラブへのメーキャップを考えている。ホームクラブに出席出来ない人のために他クラブの例会日をテレホンカードにして配る。②については、新潟クラブにNHK勤務の人がおり宜しければ視聴覚ビデオを貸し出すのでクラブの活性化に使ってほしい。③については、豊栄クラブは47名中女性が3名で女性の増員の検討あり。などの発表があり我がクラブもユニークなアイデアを取り入れて行きたいと思います。

**ロータリー情報部会** 平松利朗さん

特に印象に残ったことは最近「ロータリー情報不足」が目立つということであった。  
・ロータリー奨学生——推せんされた候補者に面接してみても、殆んどロータリーの事を知らない場合が多い。  
・家庭（ロータリアンの夫人）——常日頃の夫婦の話の中でいわゆる「ロータリー情報」が欠けている。  
・新会員——ロータリーのことを殆んど知らずにとりあえず入会している例が多い。  
・ロータリー情報委員——R I の規定審議会でロータリーの規則が毎年のように変わっている。情報委員は日本支局の資料を取り寄せる等、もっと有効に利用すること。

上記のことをテーマにして各クラブの現況が話し合われた。

**職業奉仕委員会** 石川勝行さん

「第四分科会（職業奉仕委員会）に出席して」

1、佐々木リーダーの強力かつ絶妙な議事運営に支えられて、各参加クラブの発表も又質議応答も順調に推移し、余韻を残して終了しました。

2、各クラブの発表内容の主なもの。

①4つのテストの推進

⑦日常の印刷物につける⑧例会時のテーブルに置く⑨会員事業場に掲示してもらう⑩第一例会日に唱和する

②会員卓話、従業員表彰、事業所訪問

③市と協力して母子家庭表彰

3、質議応答の主なもの

①職業奉仕とは。ロータリーの原点とは。

②アンケート調査は、現在集計中（3600通の回収であるが有効なものは200通）なので、後日発表予定。シルバー人材センターとのバランスも調整が必要。

③ロータリーとライオンズの基本的な違い。

④職業奉仕事例集を作成中なので後中配布する。

4、委員長代理として出席したが大変有意義であった。

**社会奉仕委員会** 稲田憲治さん

第5分科会（社会奉仕）に出席して

最初にリーダーによる社会奉仕の歴史、現状の報告が行われた。特に新声明を再読し、各クラブで生かすようにとの要望があった。続いて各クラブの社会奉仕活動報告が口頭で行われた。しかし、本来の目的である情報の変換（質問）の時間が全く取れなかったのは残念に思えた。総じて型通りのセレモニーという感が強く、開催意義が不鮮明だったように思う。しかし、栗山ガバナーの人間味と帰条してからの北クラブメンバーの友情とノコミュニケーションでIMの出席意義を見つけた。

**国際奉仕部会** 坂本勝司さん

リーダー 中野洸さん

サブリーダー 鍋岡弘昭さん、山本吉太郎さん } の司会

1、テーマ

一年交換及び夏期交換について

①各クラブに於いて積極的に交流して下さい。

②交換学生2名の体験発表有り

・日本から出て始めて価値感の違い、考え方の違いが色々ある事を感じた。

・参加させてもらってよかった。自分に自信がつき、視野が広がり、自分自身がたくましく思える。（過去と比べて）

世界社会奉仕について

なし

友情交換プログラムについて

なし

**ロータリー財団委員会** 山本 賢さん

新潟県東部インターシティーミーティング ロータリー財団部会報告会